

# 第2回 アドバイザリー会議

教育総務課 令和4年11月16日

# ■ 次第

1. 第1回アドバイザー会議の振り返り
2. (仮称)世田谷区教育振興基本計画の構成(案)について
3. 子どもの意見聴取方法などについて
4. その他

# ■ 第1回アドバイザー会議の振り返り

## アドバイザー会議の振り返り

第1回開催日

令和4年10月5日（水）18時～19時30分 オンライン会議

### 会議概要（末富教授の発言要旨）

#### 「こども基本法・教育基本法体制での教育政策の方向性について」

- ①こども基本法を踏まえ、子どもの権利をしっかり位置づけた新たな計画の立案
- ②学校における子どもへの人権侵害の根絶、指導モデルから支援モデルへの変革
- ③不登校の子どもたちへの学びの保障や費用の支援
- ④子どもの意見表明の尊重、参画の保障
- ⑤子どもの権利を何よりも教職員が学び、研修し、指導していくことが必要  
管理職への研修を実施し、管理職の意識改革も必要

### 会議概要（竹内准教授の発言要旨）

#### 「新しい時代への対応、子ども主体の取組について」

- ①GIGAスクール構想で子どもたちがネット環境を使う、その中での新しい時代に対応した指導・支援が必要
- ②新しい時代に合わせたルールづくりは、子どもたち自身に考えさせることが重要
- ③ルールは、子どもたち自身で検証させることが必要
- ④海外のいじめ対策では加害者にも寄り添っている。日本では加害者を指導しても、次のいじめが生まれ、支援もなく学校の先生に丸投げしているのが現状

### 次期教育振興基本計画に必要なこれからの視点

- ・子どもの意見などを踏まえ、子どもを中心に据えた計画を推進していく
- ・子どもの最善の利益を守っていくことを前提に、5年間の重点事業などを設定し、各課が施策を推進していく

# （仮称）世田谷区教育振興基本計画の構成（案）について（資料1参照）

## 教育目標について

子どもが見てもわかりやすく、学びたい人の視点で教育目標を定める  
また、その教育目標をもとに、子どもたちが育まれる世田谷の社会の実現を目指す

⇒予測困難な未来を自ら切り拓くための礎となる指標を盛り込む

- ① 探究的な学び、個別最適な学びの視点
- ② 挑む・挑戦する意欲、気概の視点
- ③ 違いを認め合う（共生社会）の視点  
【誰一人取り残さない教育の推進】  
【多様性、包摂性】  
(ダイバーシティ&インクルージョン = 多様性と社会的包摂)
- ④ コミュニケーション能力向上の視点
- ⑤ グローバルに活躍する人材の育成の視点
- ⑥ 幸せ（個人と社会全体のウェルビーイングWell-being）の視点

## 基本方針（取組みの視点） 3～5つ程度

## 実施計画（行動計画）について

「取組み項目（取組み内容）」を定め、「実施計画・行動計画（重点項目事業を含めた個別の取組み・施策）」を定める

重点項目事業とは、5年間で特に重点を置いて取り組んでいく事業

## 基本方針（取組みの視点）について

教育目標を実現させるための指針として、基本方針（取組みの視点）を3つから5つ程度定めるための教育をめぐる主な現状

- ① 家庭・地域との学びの連携【家庭教育への支援】
- ② キャリア・未来デザイン教育の推進  
【せたがや探究的な学びの実現、非認知的能力の育成】
- ③ 未知の世界、予測困難な社会で生きていく資質・能力  
【主体性・自主性・自立性の向上】【選択力の習慣化と向上】
- ④ 社会の担い手としての自覚、役割を果たす  
【多様性が尊重される社会の実現】【自己肯定感・自己有用感の向上】
- ⑤ 子ども中心の教育の推進  
【人権教育の推進、多様性や包摂性の理念の浸透、いじめ（重大な人権侵害）の撲滅】  
【育つ環境や障害の有無に関わらず、等しく公平な質の高い教育環境の確保】  
【インクルーシブ教育の実現、ジェンダーバイアス（偏り、思い込み）の解消】
- ⑥ 教育DXの更なる推進  
【ICTを活用した学びの推進】【ICT環境整備の充実】【教職員の支援】
- ⑦ 個々の能力、興味関心、将来の進路等の多様化【選択肢の多様化、個性や多様性の尊重】
- ⑧ 地域で支える教育活動の推進  
【大学、企業、町会、自治会、商店街、NPO法人等との連携】
- ⑨ 地域人材による部活動の活性化【休日の部活動の地域移行】
- ⑩ 生涯学習・社会教育の充実  
【地域と学校の連携・協働の推進】【リカレント教育の推進】  
【年齢を問わず学び続け、向上心や地域社会への貢献に意欲を持つ】
- ⑪ 多様な学びの場の拡充  
【不登校特例校、ほっとスクールなどによる自己実現】  
【特異な才能と学習困難とを併せ持つ児童・生徒に対する教育】
- ⑫ 文化の多様性を尊重し、国際社会の発展に寄与  
【教科日本語の充実】【英語体験活動、海外交流の実施】

### 【検討部会（作業部会）】

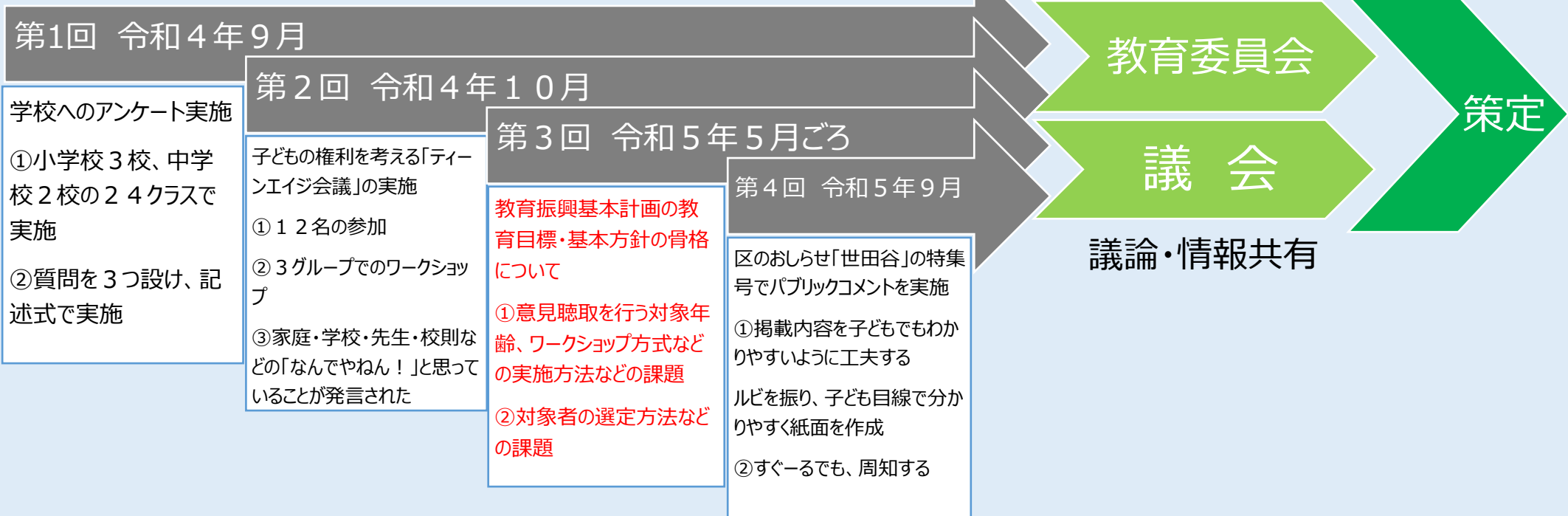
- ・3グループで取組み内容などの検討
- ・課題整理など

### 報告

策定委員会、教育委員会、区議会、総合教育会議、  
庁内関係各課

# ■ 子どもの意見聴取方法などについて

## ★ 令和4年度～5年度



# ■ アンケート実施報告

## 実施概要など

1. 実施期間  
令和4年9月7日（水）～9月21日（水）
2. 実施校  
【小学校3校】用賀小学校、船橋小学校、下北沢小学校  
【中学校2校】桜丘中学校、東深沢中学校  
※1学年1クラス（小18クラス分、中6クラス分）に依頼
3. 実施手法  
Microsoft Forms を使用  
※QRコードを児童・生徒のiPadのカメラで読み込んで記述式で回答



### 実施目的

- ①第2次世田谷区教育ビジョンを引き継ぐ（仮称）世田谷区教育振興基本計画の策定の際に、児童・生徒の意見を参考にするため。
- ②子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）、こども基本法（令和5年4月施行予定）、世田谷区子ども条例などの「子どもの意見の尊重」の主旨やこども家庭庁の考え方を踏まえて、アンケート実施を決定

## アンケート内容

### 質問1

みんなが楽しいと思う学校は、どんな学校ですか。  
また、どんな学校にしたいですか。  
（ 共生社会（違いを認め合う）に関する視点 ）  
（ 学校生活や学習内容、教育環境面に関する視点 ）

### 質問2

みんなが幸せになるためには、なにが必要だと思いますか。  
（ ウェルビーイングに関する視点 ）



### 質問3

大人になったら、どんなことをしたいですか、してみたいですか。  
（ 目標設定、挑む・挑戦する意欲に関する視点 ）



## アウトカム

（仮称）世田谷区教育振興基本計画の骨子（教育目標・基本方針）の案を策定

# ■ アンケート結果

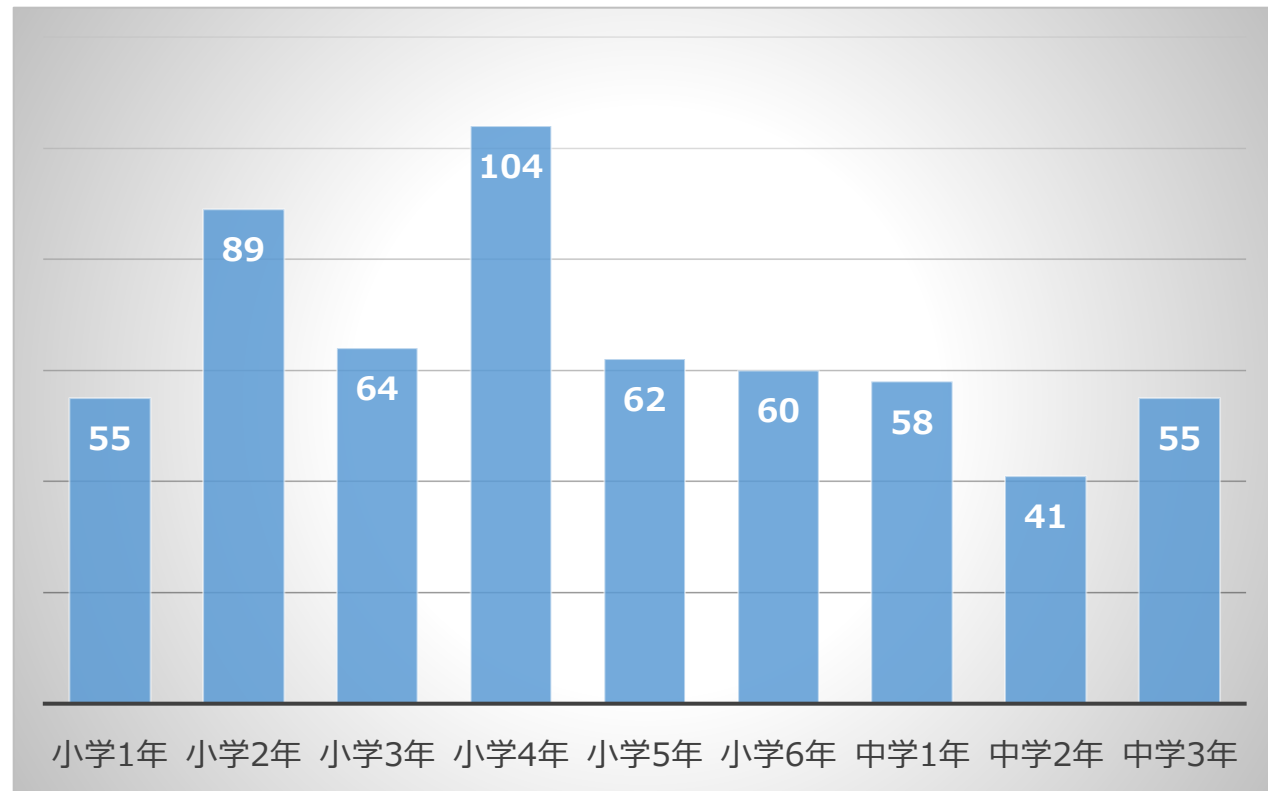
## 回答者数

回答者数 … 588名



内 訳

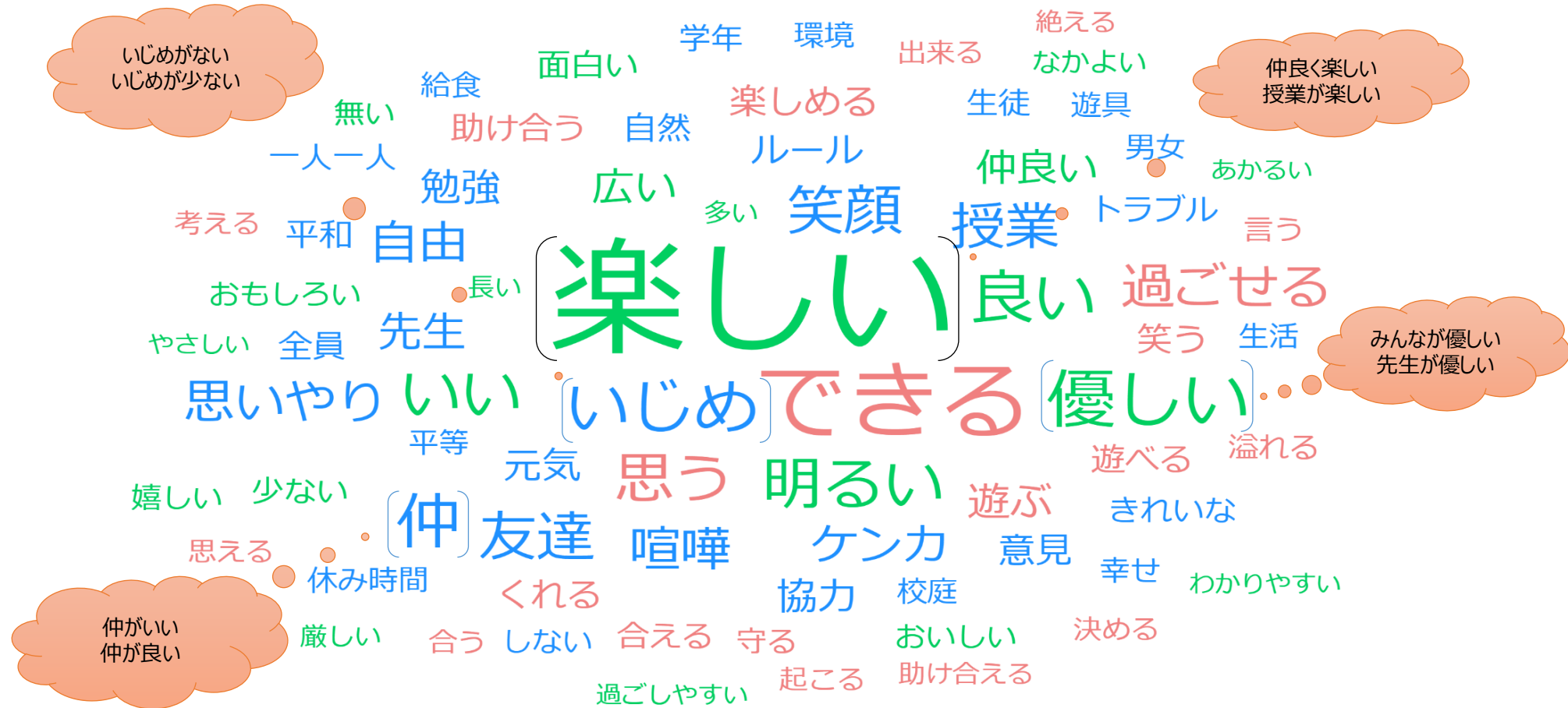
	実施数	回答者数	回答率
小学1年生	88名	55名	63%
小学2年生	89名	89名	100%
小学3年生	85名	64名	75%
小学4年生	106名	104名	98%
小学5年生	107名	62名	58%
小学6年生	104名	60名	58%
中学1年生	62名	58名	94%
中学2年生	58名	41名	71%
中学3年生	64名	55名	86%
合計	763名	588名	77%



子どもの意見（概要）については、次のページに記載

# ■ アンケート結果 (テキストマイニング)

質問 1 みんなが楽しいと思う学校は、どんな学校ですか。また、どんな学校にしたいですか。





# ■ 参考資料

## 出現頻度

### 問1 全体 (名詞)

名詞	出現頻度	
仲	45	～が良い ～がいい
いじめ	44	～がない、～が少ない ～のない
友達	36	～と仲良く、～がいっぱいいる、 ～思いな、優しい～
笑顔	35	～に満ちた みんなが～ ～が溢れる
授業	32	～が楽しい、～が面白い ～がない
喧嘩	27	～をしない ～がない
思いやり	25	～のある、～がある
自由	24	～な、～に、～時間
ケンカ	21	～がない、～のない
先生	19	～が優しい、～が怒らない
協力	17	～できる、～する
勉強	17	～できる

### 問1 全体 (動詞)

動詞	出現頻度	
できる	66	～ができる、協力～、楽しく～
思う	31	～と思う、～だと思う
過ごせる	22	笑顔で～、仲良く～ 楽しく～、心地よく～
遊ぶ	15	～時間、～時に
楽しめる	11	みんなが～、勉強を～
笑う	10	仲良く～

### 問1 全体 (形容詞)

形容詞	出現頻度	
楽しい	114	仲良く～、授業が～、明るく～
優しい	39	みんなが～、先生が～
良い	34	仲が～、仲の～
いい	33	仲が～、～がいい
明るい	32	～学校、元気で～
広い	14	校庭が～、体育館が～
仲良い	13	みんなが～、男女～



# ■ 参考資料

## 出現頻度

### 問2 全体（名詞）

名詞	出現頻度	
思いやり	113	～のある心が必要 ～が必要 ～の心 ～を持つ
優しさ	69	みんなの～ 一人一人の～
友達	33	気楽に話せる～ 大切な～
けんか	30	～をしない ～をなくす ～がおきなかったら幸せになる
ルール	28	～を守る
笑顔	25	～が必要だと思う みんなが～でいること
協力	18	みんなの～ いろんな人の～
楽しさ	15	～だと思います ～が必要
お金	15	～持ち ～と時間
学習	13	～道具

### 問2 全体（動詞）

動詞	出現頻度	
守る	28	ルールを～
助け合う	17	協力し～
考える	12	相手の気持ちを～ 一人一人の気持ちを～ 全員が相手のことを～
できる	6	安心～、信頼～ 相談～
譲り合う	5	～気持ち
認める	5	相手を～
合う	4	話し～
聞く	4	人の意見を～ 先生の話を～
受け入れる	3	～心

### 問2 全体（形容詞）

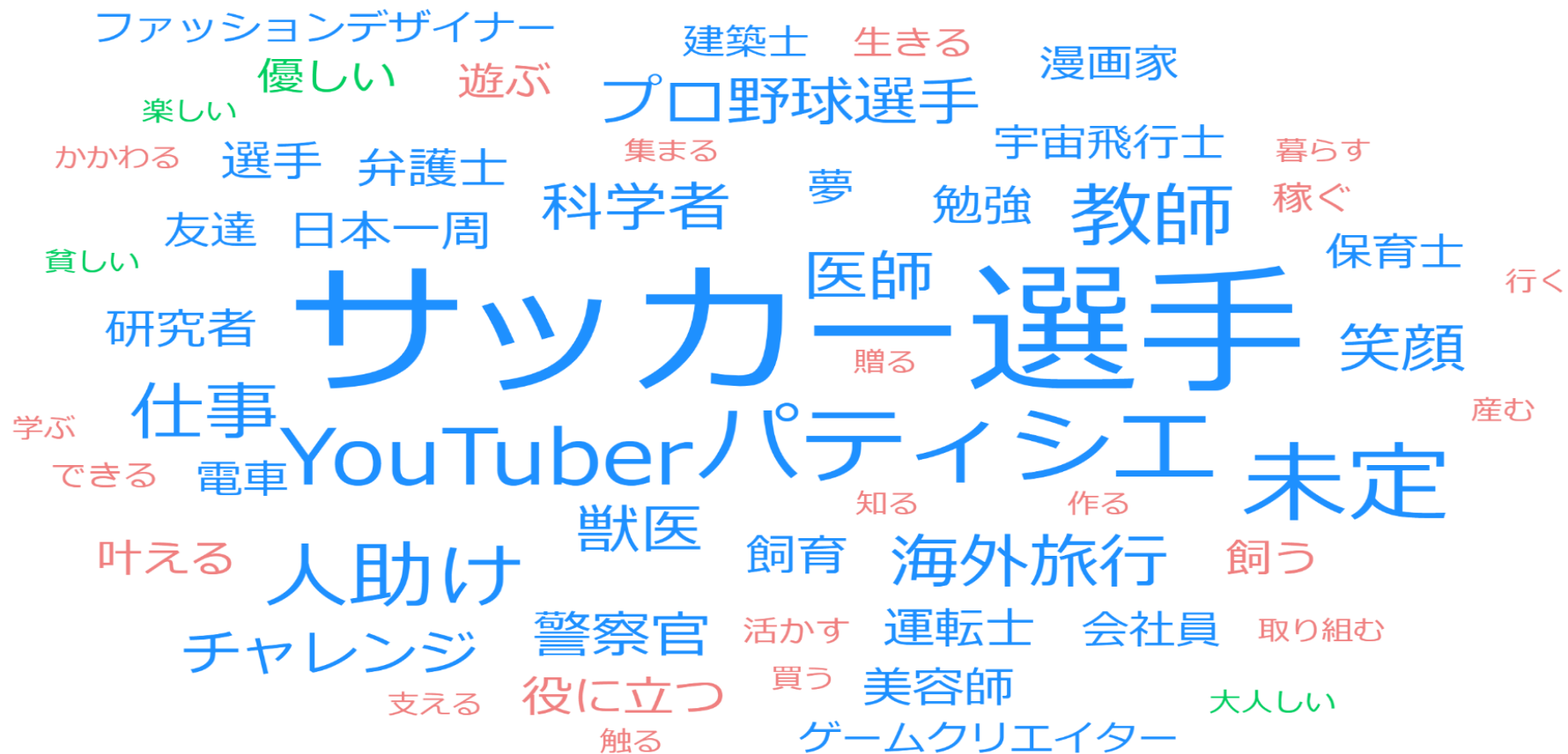
形容詞	出現頻度	
楽しい	10	みんなが～ ～生活
優しい	2	～人





# ■ アンケート結果（テキストマイニング）

質問3 大人になったら、どんなことをしたいですか、してみたいですか。（小学生）





# ■ 参考資料

## テキストマイニングとは

テキストマイニング（英: text mining）は、文字列を対象としたデータマイニングのこと。通常の文章からなるデータを単語や文節で区切り、それらの出現の頻度や共出現の相関、出現傾向、時系列などを解析することで有用な情報を取り出す、テキストデータの分析方法

名 詞：青色で表記

動 詞：赤色で表記

形容詞：緑色で表記

※出現頻度が多いほど字体が大きく太くなる



# ■ティーンエイジ会議実施概要

## 実施概要など

1. 実施日  
令和4年10月23日（日）
2. 実施場所  
池ノ上青少年交流センター
3. 参加人数  
12名（9歳から17歳）  
※小学生、中学生、中・高校生の3グループに分かれてワークショップを行った。  
※ファシリテーターは、各グループ2名
4. 発表・講評  
なんでやねん！カードを作成し、グループごとに発表  
区長、教育長などから講評

※会議報告書については、作成中  
※1月中旬にフォローアップの会を予定

